

厚地 弘行 議員
新政みらい



まちづくり テーマパークを創ろう！

議員 30年前、三田はまちの発展に夢があった。テーマパークは子どもたちにも夢がある。淡路島のニジゲンノモリ、埼玉県飯能市のムーミンバレーパーク、東京都多摩市のサンリオピューロランドなど、小さなまちでもやる気があればできる。市内には土地があり、民間の力を生かせば可能と考えるが、市の見解を伺う。

観光ビジネスの一つのピースとしてある

市 テーマパークも色々あるが、基本的な概念は議員と同じだと考える。シティホテル、観光ビジネスを呼び込むためのホテルと連動して、経済発展にテーマパーク構想はあり得る。(田村市長)

他の質問 ●子育て無償化政策は人口増と少子化対策になるか 他2件

今北 義明 議員
盟政会



市政 田村市長就任1年間の成果と報酬カットの考えは

議員 令和5年の市長選挙において、選挙公報には「市民本位の三田市政に！」をテーマに重要公約として6項目を挙げられている。その成果と自己評価を伺う。また、財政難の解決策として、市長の報酬をカットする考えはないのか伺う。

市長の報酬カットは考えていない

市 市民の命を守る最善策として、病院再編により「地域医療の充実化」に道筋をつけることができた。その他公約については、「元気な三田」の実現に向け、事業の予算化を進めている。財政難解決の一端としての報酬カットは考えてない。(田村市長)

他の質問 ●都市計画道路の見直しについて 他1件

松岡 信生 議員
公明党



子育て施策 市長公約とこどもを核としたまちづくり施策の優先順位は

議員 令和6年9月定例会の市長提案理由説明では、合計特殊出生率に言及し、「こどもを核としたまちづくり」の推進が発表された。子ども医療費や学校給食の無料化を前提としているが、合計特殊出生率の意義に見合う、多くの子どもを産み育てられる環境創出、施策展開の優先順位を伺う。

結婚や学齢期までの子ども対象の支援策も検討

市 子ども医療費や学校給食無料化は少子化対策の有力な手法と社会的に認識されつつあるが、結婚を考えている人や学齢期までの子どもへの支援策も含め幅広い対策を検討し、多くの子どもを産み育てられる環境を創出していきたい。(田村市長)

他の質問 ●将来にわたる健全財政の堅持について 他2件

美藤 和広 議員
市民の会



市税 都市計画税の使途と市民意識にギャップがある

議員 都市計画税を納めているが、植栽や道路・橋梁の不備は解消されないとの声がある。維持管理費に適用できないことや使途の情報提供を行い、全体的な運用で維持管理にも財源を使用すべきでは。

使途をより分かりやすく周知していく

市 都市計画税は、都市計画事業や土地地区画整理事業に充当される目的税で、使途の制限があり、駅前再開発・下水道・ごみ処理施設等に活用している。維持管理は、他の市税等で住民ニーズ等の優先度を考慮し、適切な実施に努めている。決算資料などで使途を周知しているが、今後は市民に分かりやすく周知していく。(櫻井財務部長)

他の質問 ●地域医療の充実について 他3件

大西 雅子 議員
公明党



福祉 公民連携による生活困窮者と食品ロスへの対策を

議員 さまざまな事情で生活に困難を抱える家庭が増えているにもかかわらず、日本全国の食品ロスは令和4年度で472万トンである。資源の有効活用や環境負荷に配慮し、公民連携による生活困窮者と食品ロスへの対策が必要では。

食料品等の支援として必要な方策を検討する

市 現時点では、食料品等を配分する仕組みの構築に必要な安定的な運営基盤の整備ができていない。まずは、市内各地域の子ども食堂の課題解決を、公民連携の枠組みも活用し、検討したい。関係部署や機関・団体等と連携し、生活困窮者等の支援と自立に向けた施策の充実を努める。(田村市長)

他の質問 ●こどもを核としたまちづくりについて 他1件

北本 節代 議員
新政みらい



交通 コミュニティバス導入とスクールバスの対応は

議員 路線バス休止は、高齢者や子どもたちが大きな影響を受ける。安心して通学できる環境を守るための代替交通の検討を急ぎ進める必要があるが、具体的な計画は。

サービスの対象者や地域のニーズに対応する

市 コミュニティバスは利用者のニーズに合わせ、路線バスが通行しないルートを設定するなど工夫したサービスの提供を期待できるが、運行経費増大等の課題もある。通学手段の確保には、スクールバスに子どもと地域住民が混乗するなどの方法も考えられる。地域の実情に応じた持続可能な地域内交通の導入に向け、検討を進める。(田村市長)

他の質問 ●農作業に伴う野外焼却について 他4件

